

平成28年度 明石市地域自立支援協議会

くらし部会 レポート Vol.22 平成29年3月31日

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎 1 丁目 5 番 13 号（明石市立総合福祉センター 1 階）

電話番号 078-923-9155 ファクシミリ 078-923-9156

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

今年度最後のレポートは、今年度から新たに立ち上げたワーキンググループ「(新) すまいの会」の活動について、当ワーキング副リーダーの満吉雄作さん（博由園）からご報告頂きます。

「障害のある人個々のニーズに即した地域生活を支援していくため、居住系サービスの充実を図る」

この活動方針のもと、すまいの会では、明石市内の入所施設やグループホームなど、障害のある人の暮らしを24時間、365日支えるサービス事業所の職員が集まり、ネットワークづくりや課題の抽出、共有を目的に活動を開始しました。

活動を始めるにあたり、まず各事業所の抱える課題を共有しようという事になり、参加メンバー各々から意見の聴取を行いました。グループホームでは、夜間の支援体制（世話人が1人だけ）等、緊急時の対応に課題、不安があること、入所施設では、利用者の高齢化に伴い、受診や日常支援量の増加等が大きな課題になっていること、また、全職員が一度に集まるのが難しく、情報共有に差が出ることや、職員のストレス等のマネジメントも今後の重要課題であるなど、様々な悩みや課題を共有しました。



その中で、昨年7月に発生した神奈川県相模原市の障害者施設の事件を受け、各事業所の防犯体制や対策等について各々の現状や感じる課題についても議論を行いました。防犯カメラの設置や、防犯研修等を実施している事業所もありましたが、小規模の事業所では実施が難しく、対応できていないことも確認でき、また、夜間体制についても、事業所の規模により様々でしたが、人感センサーや消防への通報ボタン等を整備している工夫も見られました。

さらに共通の課題として、災害発生時の対策等について意見を交換しました。例えば、「大きな自然災害が発生した場合に、避難場所はどこになるの?」「入所施設は福祉避難場所に認定されているの?」「地域で生活する障害者を受け入れる体制は整っているの?」「グループホーム等に入所中の方の避難場所はどこ?」「行政を含む所轄の消防や警察はこの現状をどこまで把握しているの?」など、様々な疑問が飛び交い、いかに災害時の対策等の情報が周知できていないかが浮き彫りにされました。

「住まい」という大きなくりの中、事業所体系や規模も異なることから共通のテーマを絞り出すのが難しい部分もあったのですが、次年度は今年度の協議内容を踏まえ、

「災害対策」を大きなテーマに掲げることを考えています。具体的には、消防や警察の関係機関を招いて助言や指導が受けられるような場を設け、まずは施設（事業所）の現状を知ってもらうこと、それをきっかけに、実際に災害が発生した時の地域のネットワークの構築を目指し、災害が発生した時にでも、お互いが助け合い、安心して生活ができるような仕組みやサービスの提案ができればと思います。

